

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (沖縄)	◎	家電量販店（営業担当）	単価の動き	・おきなわ省エネ家電購入応援キャンペーンが開始され、対象商品であるエアコン、冷蔵庫、テレビが前年比で2けた伸長している。
	◎	観光型ホテル（専務取締役）	来客数の動き	・4月の来客数及び稼働率が前年を上回っている。
	◎	観光型ホテル（企画担当）	販売量の動き	・1月の販売室数が前年比10%減少に対し、4月は前年比26%増加でプラスに転じている。
	○	一般小売店〔土産〕（営業部長）	販売量の動き	・原材料等の高騰により商品価格は上昇したが、販売量は現状維持のため、売上は伸びている。
	○	百貨店（経営担当）	販売量の動き	・ホワイトデーや新生活需要により、販売量が増加している。
	○	スーパー（企画担当）	販売量の動き	・物価高による選別消費はみられるものの、季節行事に伴う動きがより活発化している。生活必需品には慎重な一方で、清明祭や入学・就職祝いといった節目の行事には、高単価な重箱や関連商品の売行きが好調となっている。行事食を中心とした需要が景気を下支えしている。
	○	コンビニ（経営企画担当）	単価の動き	・たばこやチケットを除いた売行きが好調である。
	○	乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・受注は引き続き好調を維持している。
	○	その他専門店〔陶器〕（製造）	販売量の動き	・長年にわたり製造されている商品の販売量が増加している。
	○	その他専門店〔書籍〕（部長）	販売量の動き	・インバウンドが引き続き好調であり、売上増加につながっている。
	○	観光名所（職員）	来客数の動き	・県内の団体客が増加傾向にある。
	□	商店街（代表者）	お客様の様子	・飲食店が日々増加する一方で、小売店は減少しているため、景気判断が困難な状況である。
	□	コンビニ（店長）	来客数の動き	・来客数の前年割れが継続しているが、周辺店舗に変化はない。客単価は物価高の影響により前年を上回っているが、買上点数は伸びていない。来客数や買上点数から買い控えがみられる。
	□	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・物価高による影響で、客が慎重に買物を行っている。
	□	その他飲食店〔ファーストフード〕（総務部）	販売量の動き	・ゴールデンウィークを境に来客数と販売量は上昇するが、4月の来客数と販売量の伸びはわずかとなっている。
	□	観光型ホテル（総支配人）	来客数の動き	・客室稼働率が前年を上回っており、欧米客が増加している。
	□	通信会社（サービス担当）	販売量の動き	・直近3か月の販売量に変化がなく、客の購買行動も大きく動いていないため、景気は横ばいだと判断している。
	□	住宅販売会社（営業担当）	来客数の動き	・分譲住宅の問合せが多い。
	□	住宅販売会社（役員）	来客数の動き	・仲介物件への問合せや来客数は、3か月前と比べて大きな変化はみられない。また、物件価格の高騰により検討層の動きは慎重であるが、実需や投資需要は一定数存在しており、案内数も安定している。
	▲	一般小売店〔酒〕（店長）	販売量の動き	・食料品の物価高による影響で、飲食店は苦慮している。
▲	スーパー（店舗管理）	競争相手の様子	・競合他社の物価高に対する取り組みにより、顧客が流出している。今後も継続する場合、対応を検討せざるを得ない。	
▲	一般レストラン（代表者）	来客数の動き	・来客数が減少している。	

	▲	旅行代理店（マネージャー）	お客様の様子	・原油や物価の高騰により、出張回数が減少している。航空券や宿泊費用も増加しておりどうしようもない。
	▲	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・販売数が減少しており、購入のため来店する客も少ない状況である。
	▲	観光名所（職員）	来客数の動き	・4月下旬から来客数が減少しているものの、インバウンドに変化はみられない。
	×	その他飲食店〔バー〕（経営者）	来客数の動き	・平日はある程度人出はみられたものの、週末は人出が減少している。
企業動向関連	◎	—	—	—
(沖縄)	○	食料品製造業（役員）	受注量や販売量の動き	・一般消費が増加している。また、ホテルや土産品は引き続き好調に推移している。
	○	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・4月の受注状況は好調である。また、その他の建築計画もすでに複数の見込みが立っている。
	○	輸送業（総務経理担当）	受注価格や販売価格の動き	・前年同月比で増収増益となっている。
	□	建設業（経営者）	取引先の様子	・原油及びナフサの調達に懸念がある。資材の受注停止が発生しており、価格についても見通しが立たない状況である。
	□	通信業（総務）	それ以外	・観光は好調なものの、食料品や燃料費などの価格上昇が続いていることから、節約志向は強いとみている。
	▲	窯業土石業（取締役）	受注量や販売量の動き	・中東情勢の影響で今後の受注状況も変化するが、現状だと見積依頼や生産、販売は減少傾向にある。
	▲	輸送業（経営企画室）	それ以外	・中東情勢の影響によって燃料のみならず原油関係素材も枯渇している。梱包用フィルムやラック等の価格高騰や受注停止に伴い、コスト増加や仕入先の見直しなどが発生している。
	×	*	*	*
雇用関連	◎	—	—	—
(沖縄)	○	—	—	—
	□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数は前年同月比で減少したが、求人者から人手不足の相談は多い。
	□	学校〔大学〕（就職支援担当）	それ以外	・長期化する物価の上昇及びエネルギー問題により将来に対する不安感が高まっている。
	▲	人材派遣会社（総務担当）	求職者数の動き	・求人案件に対しての求職者の動きが鈍い。
	▲	求人情報誌制作会社（審査）	求人数の動き	・4月はゴールデンウィーク直前であり、教育に時間を割けないホテルや飲食サービス業の求人募集は減少傾向にある。新年度採用も3月で終了しており、その影響も出ている。
	▲	学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き	・前倒しで多くの求人を受けていた分、前年比で求人数は減少している。IT関連の求人は多いものの、生成AIを活用する企業が増えていることで、人員削減を実現している企業もみられる。
	×	—	—	—